2025年3月6日

2024年度研究業績等調査票

放射線・アイソトープ地球システム研究センター応用加速器部門

　2024年度に当部門の施設を利用した研究活動に関する研究業績等についてご記入の上、電子メールにてご提出をお願いします。この調査票は、応用加速器部門の年次報告書等の資料として活用いたします。学内の方は各研究室または研究グループの代表者の方からご提出をお願いします。学外の方は支援担当教職員の方への周知もお願いします。

●提出期限：2025年4月30日　提出先: annual@tac.tsukuba.ac.jp

1. 代表者氏名・連絡先（TEL、E-mail）

2. 研究業績（2024年4月1日～2025年3月31日の間に発表・刊行されたもの）

　前年度のアニュアルレポートUTTAC ANNUAL REPORT 2023:

<https://www.tac.tsukuba.ac.jp/tac/wp-content/uploads/annual/UTTAC-AnnualReport2023.pdf>

　の§7を参考に下記[2.1]～[2.5]の様式で記載してください。

[2.1] 学術誌に公表したオリジナル論文

著者名、標題、掲載誌名、巻（号）、発表年、始頁、[DOI…]の順に記載。

（例）A. Uedono, W. Ueno, T. Yamada, T. Hosoi, W. Egger, T. Koschine, C. Hugenschmidt, M. Dickmann, H. Watanabe, “Voids and vacancy-type defects in SiO2/GaN structures probed by monoenergetic positron beams”, J. Appl. Phys. 127 (2020) 054503(1-8). [DOI: 10.1063/1.5134513]

なお、和文の論文は著者名と標題を英語併記して下さい。

[2.2] レビュー、解説、書籍等

著者名、標題、掲載誌名(巻号)または出版社名、発表年、始頁、（あればdoi）の順に記載。

[2.3] 国際会議あるいは国内学会等における口頭あるいはポスター発表

全発表者名、標題、学会名、（開催場所、オンライン開催またはon line）、（年月日）の順に記載し、開催者から講演を依頼された場合は（招待講演またはInvited Talk）と文末に記載して下さい。国際会議での発表は英文で、国内会議については和文でお願いします。

（例）上殿明良， 高島信也， 江戸雅晴， 上野勝典， 松山秀昭，M. Dickmann，W. Egger，
C. Hugenschmidt，嶋 紘平，小島一信，秩父重英，石橋章司，“陽電子消滅法による Mgイオン注入 GaN の空孔型欠陥の焼鈍特性及び欠陥によるキャリア捕獲の研究”, 先進パワー半導体分科会－応用物理学会, オンライン開催 (2020 年 11 月 16 日). （招待講演）

[2.4] 博士論文、修士論文、卒業論文のそれぞれについて下記を記載

著者氏名：ローマ字表記

学位名：修士（理学）などの様に記載

論文名：和文の場合は英訳と共にローマ字表記の氏名を付ける

[2.5] 知財権に関するもの（特許など）。